クラウドマルウェアとSaaS API DLPを使用したDropboxについて

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

- [要件](#)
- [使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[機能拡張の有効化](#)

[機能拡張の料金](#)

[クラウドマルウェアおよびSaaS API DLPにおけるDropboxテナントのオンボーディングに関するドキュメント](#)

はじめに

このドキュメントでは、UmbrellaおよびSecure Access製品に対するCloud MalwareおよびSaaS API DLPの機能拡張に関する製品リリースノートについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaおよびセキュアアクセスに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

UmbrellaおよびSecure Access製品に新しい機能拡張が加えられました。クラウドマルウェアとSaaS API DLPは、Dropbox Teamsフォルダのスキャン機能を提供するようになりました。この機能拡張により、さらに堅牢なデータセキュリティソリューションが提供されます。

Dropboxはすでにクラウドマルウェアと DLPに対応しています。ただし、スキャン機能は個人用Dropboxフォルダに保存されたファイルに制限されていました。

リモートコラボレーションが広く普及したこの時代において、組織の機密データはDropbox Teamフォルダ内に大量に保存され、編集され、コラボレーションのユースケースが促進されています。

機能拡張の有効化

この拡張機能を有効にするために必要な操作はありません。DropboxをSaaS API DLPまたはクラウドマルウェアにオンボーディングしたumbrellaまたはSecure Accessのすべての組織は、有効化や追加設定の必要なく、この機能強化のメリットを自動的に得ることができます。

機能拡張の料金

この機能拡張は、すべてのDLPユーザに対して追加料金なしで提供されます。

クラウドマルウェアおよびSaaS API DLPにおけるDropboxテナントのオンボーディングに関するドキュメント

Cloud MalwareおよびSaaS API DLPでのDropboxテナントのオンボーディングについては、次のドキュメントを参照してください。

- DropboxのDLP保護を有効にする
- Dropboxのクラウドマルウェア防御を有効にする

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。